

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	福島県立郡山支援学校 高等部生 47名 福島県立郡山東高等学校 80名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( 他校との交流活動 ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	○ユニバーサルスポーツや体験活動を通じて、スポーツの意義と共生社会についての一助とする。 ○他校の生徒と協力しながら活動することで、自分の行動や意識を高めたり、互いを認め合う気持ちを深めたりすることで、社会性を養い、豊かな人間性を育む。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>郡山東高等学校生徒80名と本校高等部生徒47名が交流学习を行った。</li> <li>代表生徒による話し合いを行い、障がいの有無に関係なく誰もが実施することのできるルールを考え、野球、転がし卓球、ボッチャ、風船バレーボール、ゴルフのそれぞれの競技に別れて交流学习を行った。</li> </ul>
	   

・部活動紹介（ボッチャ、スラローム、野球、剣道）



6 主な成果

- ・両校の生徒にとって、互いを知る良い機会になった。
- ・ユニバーサルスポーツを通じて互いに協力したり、コミュニケーションを図ったりしたことにより、障がい者スポーツへの理解を拡げることができた。
- ・それぞれの競技の特徴を聞いたり、体験したりすることで、互いのスポーツについて興味・関心を高めることができた。
- ・それぞれの競技がオリンピック競技、パラリンピック競技だということを知ることができ、東京オリンピック・パラリンピックへの興味・関心・期待感を高めることにつながった。

7 実践において工夫した点（事業の特色）

- ・代表生徒による事前打ち合わせの機会を設け、互いの特徴を知ること、競技やルールの選定を行い、誰もが参加できるイベントになるようにした。
- ・グループの人数を少数にすることで、他校生との交流する場面を増やすようにした。

8 主な課題等

- ・年間指導計画と異ならないようにするために日程の調整などが難しかった。

9 来年度以降の実施予定

- ・他校との交流学習については、スポーツを通じたインクルーシブな社会の構築に繋がる取り組みであったことから、次年度以降も継続していく。